

谷津山の野鳥

谷津山は市街地の中にある独立した低い山のため、生息する野鳥はそんなに多くありません。ヤマガラやシジュウカラ、キジバト、ヒヨドリ、メジロなど身近な野鳥が一年中見られます。



谷津山の竹林

谷津山でも、手入れがされないため増えた竹林があちこちに見られます。放置しておく、生物多様性が低下してしまうだけでなく、土砂災害などへの影響が考えられるため、ボランティアの団体が、竹林の伐採や管理を進めています。



谷津山の昆虫

谷津山では、モンシロチョウやアゲハチョウなどのチョウを見つけることができます。日本固有種のヒカゲチョウも数多く生息しています。

冬でも日当たりの良い草むらでは、ツチイナゴの成虫が見つかります。成虫は地味な茶褐色をしています。夏になると鮮やかな黄緑色の幼虫が出現します。



静岡いきものの 市 散策マップ

谷津山コース



山頂付近から北西の眺め



賤機山がよく見えます

山頂付近から南東の眺め



八幡山がよく見えます

谷津山古墳からの眺め



日本平と駿河湾がよく見えます

駿府音羽山清水寺

室町時代、今川氏輝の遺命により重臣の朝比奈元長が建立したお寺です。谷津山周辺を京都の東山に見立てて、清水寺と名付けました。



イチヨウ

古い木になると気根(きこん)と呼ばれる乳房状の突起が垂れ下がります。秋になると葉が黄色くなります。



GPS情報:
N 34 58 45.1 E 138 23 46.7

谷津山の成り立ち

数万年前、庵原山地から延びる尾根が安倍川から運ばれてくる土砂によって埋まっていき、尾根の高いところだけが孤立した山のように残りました。この部分が、現在の谷津山となっています。



賤機山から見た谷津山の全景

谷津山古墳

谷津山古墳は古墳時代前期の前方後円墳で、静岡清水の中で最も古く、最も大きい古墳です。(全長約110m、高さ約10m)

大きな板石で覆われた竪穴式石室に、朱を塗った木棺が納められていました。また銅鏡、剣、やじり、管玉など、社会的地位の高さを示す副葬品が出土していることや、古墳の規模や形態、静岡清水を見渡す立地条件から、古代の駿河国の前身である、廬原国(いほはらこく)の首長の墓といわれています。

スタジイ

シイの仲間です。ツブラジイと違い、樹皮が縦に裂けます。この木はとも古い木で、樹齢300年前後と推測されています。



GPS情報:
N 34 58 59.6 E 138 24 07.1

ヤマモモ

初夏に2cm程のプツプツした赤い実をつけます。実が桃のように食べられることからヤマモモという名前がつけました。



GPS情報:
N 34 59 09.5 E 138 24 26.9

護國神社の森

昭和16年に静岡護國神社が造られた時、静岡県下各地から、ふる里の樹木が寄せられ、植えられました。今では、多くの立派な樹木が茂る森(照葉樹林)となりました。

この森はふる里の森づくりのモデルであり、樹木を観察するのにとても良いところです。昭和60年に静岡県の「お宮の森・お寺の森百選」のひとつに選ばれ、自然学習コースとなっています。



護國神社本殿



照葉樹林の森



静岡市 いきもの 散歩マップ

谷津山コース

とり・どうぶつ

● メジロ



ウグイスに似ていますが、背側は全体的に黄緑色で、眼のまわりが白いのが特徴です。人家の庭先でも見られます。

● キセキレイ



スズメより大きくほっそりしていて、胸からお腹までが黄色い鳥です。主に水辺にすみ、昆虫をつかまえて食べます。

● ジョウビタキ



スズメより少し小さな鳥で、秋に日本へやってくる渡り鳥です。山地から住宅地で見られ、「ヒッヒッ」と鳴きます。

● カワラヒワ



スズメくらいの大きさで、飛ぶと翼に黄色の模様が見られる小鳥です。雑木林などで見られます。

● シジウカラ



スズメくらいの大きさで、「ツイピーツイピー」と鳴きます。山地から、人家のまわりでも見られます。

● ヤマガラ



スズメくらいの大きさで、「ツイピーツイピー」と鳴きます。公園などでも見られます。学習能力がとても高いです。

● コゲラ



スズメくらいの大きさで「ギューギュー」と鳴くキツツキの仲間です。公園など身近な場所でも見られます。

● キジバト



「デデッポー」と鳴き、くびに青色をおびた灰色の模様があるハトです。山地だけでなく、平地や市街地でも見られます。

● ホオジロ



スズメより大きな鳥で、オスは木の上で「チョッピ、チュ、チュ、チュ」と鳴きます。耕作地などで見られます。

● ヒヨドリ



ハトより小さな鳥で、林や市街地、民家の庭で普通に見ることができます。木の実、果物を好んで食べます。

● ツバメ



春に日本へやってくる渡り鳥で、「チュピチュピ」と鳴きます。人家の軒先に巣を作り、子育てをします。

● キビタキ



スズメより少し小さな鳥で、山地や里山の林にすんでいます。オスは喉が橙色で、胸からお腹までが黄色をしています。

● ウグイス



よく知られた鳴き声は「ホーホケキョ」ですが、冬には「チャッチャッ」と鳴きます。ヤブの中において姿を見るのは難しいです。

● ムクドリ



スズメより大きな鳥です。「キルキル」と騒がしく鳴き、街路樹をねぐらにするため、人に嫌われることがあります。

● タヌキ



中型の哺乳類で、足が短く、ずんべりした体つきです。雑食性で、小動物や果実などを食べます。

外来生物

● ミシシippアカミミガメ



幼体はミドリガメと呼ばれ、ペットとしてよく飼われます。捨てられたカメが増えています。

アクセス情報



【電車でのアクセス】

《清水山公園》
静岡鉄道「音羽町駅」下車
きよみずさん通りを北西に向い、徒歩2分(約150m)

《静岡県護国神社》
静岡鉄道「榑木駅」下車
山側を北東に向い、徒歩5分(約300m)

緊急連絡先

- ・ 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX:0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- ・ 消防 119番
- ・ 警察 110番

注意事項

- ・ ハイキングでの安全は自己責任でお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりしておきましょう。
- ・ 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・ コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- ・ 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市清流の都創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL:054-221-1357 FAX:054-205-2666
 制作年：平成25年3月

しょくぶつ

● シャガ



アヤメの仲間、山地の林のまわりや道ばたに生えています。4~5月に少し紫がかった白色の花を咲かせます。

● イタドリ



陽当たりの良いところに生える植物で8~10月に白い花を咲かせます。若い茎は柔らかく、山菜として食べられます。

● ツユクサ



7~9月に青色の花を咲かせます。早朝に咲いた花は昼頃にはしぼみます。人家付近の道ばたに多く育ちます。

● トキワツユクサ



南アメリカ原産の植物で、陽当たりのあまり良くない道ばたや林の中に生えています。5~7月に白い花を咲かせます。

● カタバミ



ハート型の3枚の葉が1組になっています。春から秋まで黄色の花を咲かせます。実は熟すと弾けて種を飛ばします。

● ムラサキカタバミ



南アメリカ原産の植物で、庭や道ばたなどにたくさん生えています。3~8月、11~12月に赤紫色の花を咲かせます。

● ヒガンバナ



秋のお彼岸の頃に、赤い花を咲かせます。花が枯れた後に出る細長い葉は、冬の間だけ見られます。全体に毒があります。

● ドクダミ



6~7月に白色の花を咲かせます。全体に独特においがあり、葉やお茶に使われます。日かげの湿ったところに生えます。

● ノコンギク



山地の林のまわりでよく見られます。9~11月に淡い紫色の花を咲かせます。葉の表裏に短い毛があります。

● トネアザミ



低地から山地までに生えているアザミの仲間、9~11月に赤紫色の花を咲かせます。

● アジサイ



6~7月に赤紫から青紫色の花を咲かせ、咲いてから花の色は徐々に変わっていきます。毒があることでも有名です。

● ハハコグサ



4~6月に黄色の花を咲かせます。道ばたなどに生育します。ゴギョウとも呼ばれる春の七草の一つです。

むし

● キアゲハ



開けた草原を好みますが、山頂にも集まります。幼虫は他のアゲハチョウの仲間とは異なり、セリ科の植物を食べます。

● キマダラセセリ



草原や林のまわりにすみ、ヒメジョオンやオカトラノオなどの花を好みます。6月から9月にかけて、2回発生します。

● ニワハンミョウ



体長2cmくらいのハンミョウの仲間です。オリブ色の体に白い模様があります。成虫は4~10月に見られます。

● ホタルガ



はねの長さが3cmくらいで、昼間に活動するガの仲間です。成虫は6~7月と秋のはじめに見られます。

● オオスズメバチ 要注意



日本最大のスズメバチで、日本のハチでは最も強い毒を持ちます。大きな木の根元や土の中などに巣を作ります。

● ヤマトシジミ



早春から初冬まで、平地や低い山の間などで見ることが出来ます。幼虫はカタバミだけを食べます。

● アオスジアゲハ



林のまわりにはいますが、市街地でも見られます。活発に飛びまわって、花を訪れます。幼虫はクスノキを食べます。

● アサギマダラ



春には南から北へ、夏から秋には北から南へ、2世代かけて移動します。ヒヨドリバナが特に好きです。

● ミヤマアカネ



アコンチの仲間、はねにある濃茶色の帯が特徴です。主に山地にすみ、6~11月に見られます。

● ヒカゲチョウ



日本だけにいるチョウです。年に2回発生し、5月から10月まで見られます。夕方にならばり張って飛び回ります。

● イチモンジセセリ



成虫は初夏から初秋にかけて、年3~5回発生します。秋になると数が増え、幼虫はイネ科の植物を食べます。

● ツチイナゴ



体長5~7cmの淡い土色をしたイナゴで、草の茂った野原にすんでいます。秋に成虫になり、そのまま冬を越します。

メモ

しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

検索



静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。
 ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!! (ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)